



夏期の水難防止

水難は、例年6月から8月にかけて多く発生しています。

特に、魚釣りや水遊び中に溺れたり、ボートから転落するなどの水難が後を絶ちません。

過去には、子供のみで川遊び中に流されたり、レジャー中のカヤックが転覆するなどして、死亡する水難が発生しています。

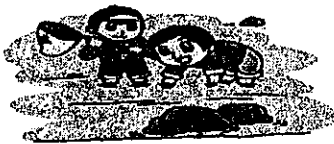
「水」に対する危険性について、家族や仲間と話し合い、地域全体で改めて危険箇所を点検するとともに、魚釣りや水遊びの際には、ライフジャケットを着用するなど、必要な安全対策を行いましょう。



子供から目を離さない

過去には、親や保護者が付近にいながら、子供から目を離したすきに、池等に転落する水難が発生しています。

子供は、活動的で常に動き回ることを念頭に、子供を遊ばせる時は、周囲に危険箇所がないかを確認、目を離さないようにしましょう。



魚釣りや水遊びは複数で

一人で魚釣りや水遊びに出かけると、万が一水難に遭った際に、助けを呼ぶことができません。

なるべく、複数人で出かけるとともに、ライフジャケットを着用しましょう。

また、子供だけで遊んでいる場合は、周囲にいる人が注意してあげましょう。



危険箇所の点検を

普段は干上がっている河川敷でも、局地的な豪雨により、短時間で水位が上昇する場所があります。

各家庭や地域等で、危険箇所を点検するとともに、危険箇所の管理者に事故防止施設の設置を要望するなど、安全対策を講じましょう。

防災ワンポイント①

大規模災害の発生に備え、防災上のポイントを複数回に分けてお知らせします。

初回は、



ハザードマップの確認



市町村が作成・配布しているハザードマップには、

- 避難施設などの防災関連施設
- 土砂災害警戒区域・特別警戒区域
- 浸水想定区域

など重要な情報が記載されています。



ご家庭や職場の皆さんで、避難所や避難場所の所在地と、そこまでの経路を事前に確認しておく、より安全かつスムーズな避難が可能になります。

被害の未然防止や被害を最小限に抑えるためには、早めの避難が重要です！

防災ワンポイント②

大規模災害の発生に備え、防災上のポイントを複数回に分けてお知らせします。

今回は、



避難の判断基準



令和3年5月に、避難に関する新たな基準が示されました。

5 緊急安全確保

4 避難指示

3 高齢者等避難

テレビ、ラジオ、インターネットなどで最新情報を入力し、避難情報が出たら速やかに避難しましょう。

被害の未然防止や被害を最小限に抑えるためには、早めの避難が重要です！